

サポートツール全国キャラバン2009「教材教具研修会」in新潟
**発達障害がある子ども一人ひとりのニーズに応じた
 指導・支援の具体的方法**

日時：2009年11月1日（日）10:00～16:30（9:30受付）

会場：新潟市総合福祉会館5階 大集会室

新潟市中央区八千代1丁目3-1 TEL 025-248-7161

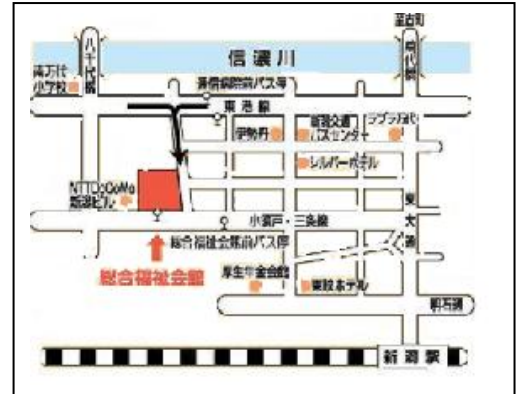
新潟駅から 昭和大橋経由入船営業所行 春日町バス停下車

八千代橋経由入船営業所行 通信病院前バス停下車

水島町経由県庁～西部営業所行 春日町バス停下車

徒歩 新潟駅から徒歩15分（約600m）

バスセンターから徒歩10分（約400m）



定員：80名

参加費：1000円（新潟いなほの会会員・賛助会員 500円）

申込先：メール kouenkai@niigata-inaho.com

必要事項 《氏名・ふりがな・区分》をすべて入力の上、お申し込みください。

区分は、いなほの会会員 保護者・賛助会員、一般（非会員）関係者です。

一般（非会員）関係者のかたは、所属を入力してください。

参加希望者全員の氏名・ふりがな・区分をお願いいたします。

締切：2009年10月18日（日）

先着順受付で定員になり次第締め切ります。お断りする場合のみご連絡いたします。

特別支援教育が法律に基づいて本格的に実施されてから2年が経過し、LD等の発達障害がある子ども一人ひとりのニーズに応じた適切な指導及び必要な支援の具体的方法が求められています。LD等発達障害がある子どもの特性は一人ひとり異なり、抱えている困難さも様々であり、学び方も違います。こういった発達障害のある子どもたちに対し、教材をうまく利用して指導効果をあげている実践事例も数多く報告されてきましたが、目の前の子どもに有効な指導法としてそのまま利用できる例は少ないのが現実ではないでしょうか。

全国LD親の会では、文部科学省からの受託研究として、2006年度から2年間にわたり、発達障害児向けの教材・教具についてのデータを収集し、発達障害のある子ども達が持つ困難を体系的に分類して整理し、具体的に実証をしめして、「サポートツール・データベース」としてまとめました。

発達障害児のためのサポートツール・データベース（教材・教具DB）

<http://www.jpald.net/research/index.html>

さらに今年度より、「子どもの成長を見据えた長期的な視野にたったサポート」「子どもを中心に、関係する多方面における専門家と連携したサポート」という趣旨のもと、教育現場における教材・教具のみならず、就労・自立を見据えた支援に繋がる子どもの生活全般にわたるサポートも含めて、個別の指導計画作成の参考となるよう、身近な教材・教具の具体的なサポート例を提示する研修会を全国数か所で順次開催していきます。

講演とワークショップを通じて、教育現場での指導の工夫のみならず、子どもの姿勢保持や身体の使い方なども含め、具体的なサポート例をともに学んでいきたいと思っております。多くの方のご来場をお待ちしています。

プログラム

- 9 : 3 0 開場
- 1 0 : 0 0 開会挨拶・研修会の概要説明
- 1 0 : 2 0 講演1 「発達障害のある子どもの特性に沿ったサポートと教材の活用」
～使い方で変わる教材の有効性～
- 講師 山田 充 氏（特別支援教育士スーパーバイザー）
堺市立日置荘小学校通級指導教室教諭・堺市特別支援教育専門家チーム・
堺LD研究会・「コミ☆トレ」番組委員
- 1 2 : 0 0 昼休憩
- 1 2 : 5 0 講演2 「発達障害のある子どもの感覚運動機能に応じた教材教具の工夫」
- 講師 嶋谷 和之 氏（日本感覚統合学会テストメカニクスインストラクター）
大阪市更生療育センター作業療法士・大阪府作業療法士会 発達部門副代表
- 1 4 : 0 0 休憩
- 1 4 : 1 0 ワークショップ
- 1 6 : 2 0 質疑応答
- 1 6 : 3 0 閉会挨拶

主 催 : 特定非営利活動法人全国LD親の会

共 催 : 新潟いなほの会—発達障害児者親の会—

後 援 : 新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、一般社団法人日本LD学会、

社団法人日本作業療法士協会、日本感覚統合学会、社団法人新潟県作業療法士会

 **NPO 全国LD親の会**
法人

NPO法人全国LD親の会・事務局 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木 415
TEL/FAX:03-6276-8985 E-MAIL : jimukyoku@jpald.net URL : <http://www.jpald.net/>